

S.ISHIMITSU&CO.,LTD.



第65期中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日

株主の
皆様へ

 石光商事株式会社 証券コード:2750

株主のみなさまへ To Our Shareholders

わたしたちは国境を越えて 「食」文化を創造します。



代表取締役社長
森本 茂

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第65期中間期(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)の事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

今中間決算は、コーヒー生豆等の原料高により大変厳しい結果となりましたが、通期につきましては黒字化をめざして業績の向上に努めてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

目 次

株主のみなさまへ ……………	1	中間個別財務諸表要旨(参考) …	7
事業の概況 ……………	2	業績ハイライト ……………	8
部門別概況 ……………	3	会社情報 ……………	9
中間連結財務諸表 ……………	5		

当中間期におけるわが国経済は、消費税増税による個人消費の低迷が続き、また、国際情勢はユーロ圏の成長鈍化により、先行き不透明な状況が続いております。

当社の主力マーケットである食品業界におきましても、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動や夏場の天候不順による需要減退の影響により、厳しい経営状況が続きました。

また、コーヒー業界におきましても、コーヒー生豆相場の変動や為替相場における円安の進行もあり予断を許さない状況であります。

このような状況のなか、当社グループは現在推進中である新成長戦略「GO GO PLAN」達成に向けて、当連結会計年度は事業運営体制の強化として「営業力の強化」「業務効率の向上」「品質管理の充実」、事業の拡大として「新規事業の発掘・新商品の開発」「新規顧客の開拓」「海外事業の拡大」に努めてまいりましたが、当中間期では、その成果をあげることができませんでした。

売上高は17,298百万円(前年同期比3.7%

増加)となりましたが、コーヒー生豆相場の高騰および原料高・円安によるコスト上昇は利益に大きく影響し、また、物流コストの増加等により営業損失は306百万円(前年同期は124百万円の営業利益)、経常損失は316百万円(前年同期は54百万円の経常利益)、中間純損失は211百万円(前年同期は15百万円の中間純損失)となりました。



部門別概況

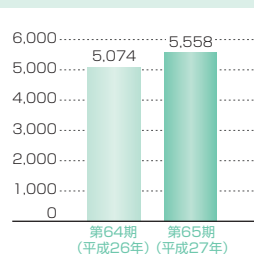
コーヒー・飲料部門

売上高構成比



売上高

(単位:百万円)



1 コーヒー生豆

コーヒー生豆相場は高値圏で推移し、為替相場も円安となり、仕入価格の上昇は利益について厳しい状況となりました。

主要取引先への販売はプレミアムコーヒーを中心に販売拡大は進み、売上高および販売袋数は前年同期と比べ増加いたしました。

その結果、コーヒー生豆の売上高は前年同期比19.0%増加いたしました。



2 コーヒー加工品

インスタントコーヒーは、引き続き厳しい販売競争により原料用バルクが減少いたしました。レギュラーコーヒーは、前期からの家庭用・業務用の販売強化が進み、焙煎豆およびコーヒーバッグが順調に推移いたしました。

その結果、コーヒー加工品の売上高は前年同期比10.3%増加いたしました。

3 飲料事業

飲料原料は、ナタデココが引き続き好調であり、その他の飲料原料も順調に推移したことにより、売上高は前年同期比49.5%増加いたしました。

茶類は、紅茶・穀物茶が厳しい販売競争により減少し、売上高は前年同期比28.7%減少いたしました。

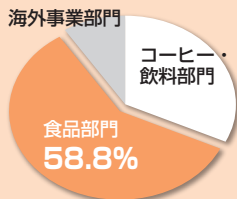
その結果、飲料事業の売上高は前年同期比11.2%減少いたしました。



これらの理由によりコーヒー・飲料部門の売上高は5,558百万円(前年同期比9.5%増加)となりました。

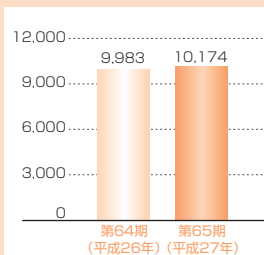
食品部門

売上高構成比



売上高

(単位:百万円)



1 加工食品

フルーツや野菜の加工食品は、加工メーカー向けの販売活動が実り、売上高は前年同期比5.1%増加いたしました。

イタリアからの輸入食品は、パスタが厳しい販売競争により減少いたしました。トマト・オリーブオイル製品の販売が拡大できたことにより、売上高は前年同期比0.2%増加いたしました。

国内メーカー商品のうち常温食品の売上高は前年同期比19.0%減少、冷凍食品の売上高は前年同期比8.5%減少いたしました。

その結果、加工食品の売上高は前年同期比10.2%減少いたしました。



2 水産および調理冷食

水産は、主力商品であるエビの販売は堅調に推移いたしました。タコ加工品の販売が減少したことにより、売上高は前年同期比4.6%減少いたしました。

調理冷食は、惣菜メーカーへ鶏加工品の販売が引き続き好調で、タイ産鶏生肉の販売も進み、売上高は前年同期比41.3%増加いたしました。

その結果、水産および調理冷食の売上高は前年同期比7.9%増加いたしました。

3 農産

生鮮野菜は、玉葱および梅の販売が引き続き好調に推移したことにより、売上高は前年同期比22.6%増加いたしました。

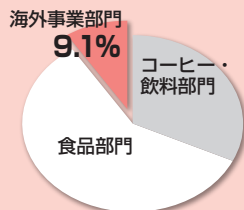
加工品は、筍および蓮根等の惣菜原料ならびに唐辛子の販売が順調に拡大したことにより、売上高は前年同期比15.3%増加いたしました。

その結果、農産の売上高は前年同期比18.7%増加いたしました。

これらの理由により食品部門の売上高は10,174百万円(前年同期比1.9%増加)となりました。

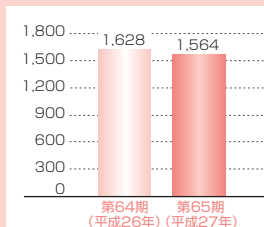
海外事業部門

売上高構成比



売上高

(単位:百万円)



酒類の販売強化およびコーヒーバッグの新規輸出等もありましたが、アジアにおける厳しい販売競争の影響により、海外事業部門の売上高は1,564百万円(前年同期比3.9%減少)となりました。



中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間連結会計期間末 (平成26年9月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	14,386	13,439
固定資産	5,835	5,778
有形固定資産	2,668	2,782
無形固定資産	76	49
投資その他の資産	3,089	2,947
繰延資産	2	4
資産合計	20,224	19,222
(負債の部)		
流動負債	8,456	7,306
固定負債	4,315	4,611
負債合計	12,772	11,917
(純資産の部)		
株主資本	6,986	7,100
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	6,113	6,227
自己株式	△107	△107
その他の包括利益累計額	290	25
その他有価証券評価差額金	66	50
繰延ヘッジ損益	197	△50
為替換算調整勘定	26	26
少数株主持分	174	179
純資産合計	7,451	7,305
負債・純資産合計	20,224	19,222

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当中間連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前中間連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	17,298	16,686
売上原価	15,620	14,633
売上総利益	1,677	2,052
販売費及び一般管理費	1,983	1,928
営業利益又は営業損失(△)	△306	124
営業外収益	51	36
営業外費用	61	105
経常利益又は経常損失(△)	△316	54
特別利益	0	0
特別損失	3	0
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△319	54
法人税、住民税及び事業税	7	19
法人税等調整額	△111	57
少数株主損益調整前中間純損失(△)	△216	△22
少数株主損失(△)	△4	△6
中間純損失(△)	△211	△15

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	当中間連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前中間連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△747	△977
投資活動による キャッシュ・フロー	△96	39
財務活動による キャッシュ・フロー	664	649
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△6	16
現金及び現金同等物の 増減額	△186	△271
現金及び現金同等物の 期首残高	1,731	2,574
現金及び現金同等物の 中間期末残高	1,544	2,302

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

ホームページのご案内

<http://www.ishimitsu.co.jp/>

当社ホームページでは、企業情報・IR情報、採用情報、最新ニュース等、当社に関する情報を提供しております。



中間貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当中間会計期間末 (平成26年9月30日現在)	前中間会計期間末 (平成25年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	14,006	13,029
固定資産	3,246	3,254
有形固定資産	2,037	2,101
無形固定資産	66	37
投資その他の資産	1,142	1,116
繰延資産	2	4
資産合計	17,255	16,289
(負債の部)		
流動負債	8,447	7,259
固定負債	4,046	4,306
負債合計	12,493	11,565
(純資産の部)		
株主資本	4,536	4,748
資本金	623	623
資本剰余金	357	357
利益剰余金	3,663	3,875
自己株式	△107	△107
評価・換算差額等	225	△24
その他有価証券評価差額金	28	25
繰延ヘッジ損益	197	△50
純資産合計	4,761	4,723
負債・純資産合計	17,255	16,289

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(単位:百万円)

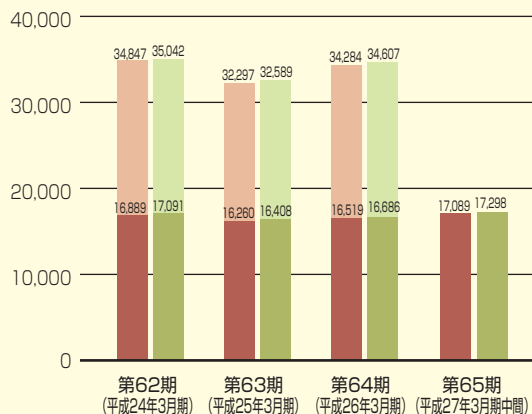
科目	当中間累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	前中間累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	17,089	16,519
売上原価	15,598	14,612
売上総利益	1,490	1,907
販売費及び一般管理費	1,813	1,770
営業利益又は営業損失(△)	△323	137
営業外収益	65	61
営業外費用	71	70
経常利益又は経常損失(△)	△329	128
特別利益	0	0
特別損失	0	—
税引前中間純利益又は 税引前中間純損失(△)	△329	128
法人税、住民税及び事業税	0	14
法人税等調整額	△109	63
中間純利益又は 中間純損失(△)	△220	49

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

売上高

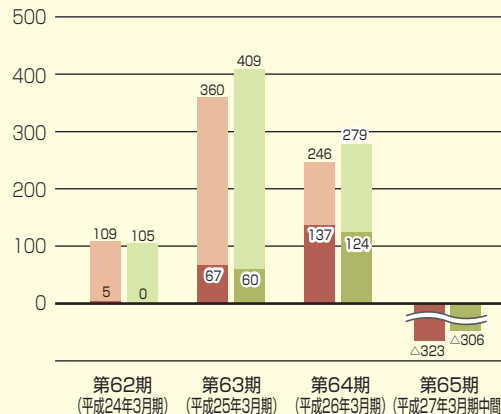
個別期末
個別中間
連結期末
連結中間

(単位:百万円)



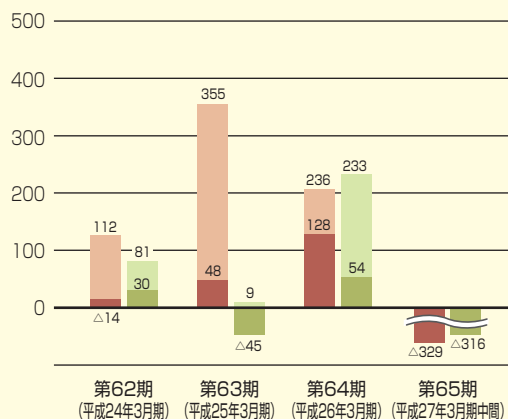
営業利益(△損失)

(単位:百万円)



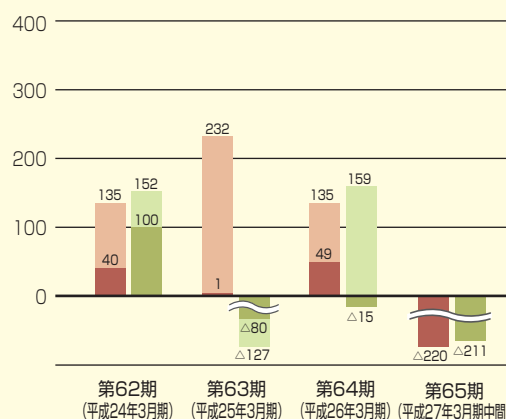
経常利益(△損失)

(単位:百万円)



中間(当期)純利益(△損失)

(単位:百万円)



会社の概要

会社設立 昭和26年5月
 会社名 石光商事株式会社
 資本金 62,320万円
 本社 神戸市灘区岩屋南町4番40号
 従業員数 160名

役員

代表取締役社長 森本 茂
 専務取締役 草場 鉄郎
 常務取締役 山根 清文
 取締役 上野 知成
 取締役 中埜 晶夫
 取締役 石脇 智広
 常勤監査役 山岸 公夫
 監査役 樋口 進二
 監査役 北川 誠

名誉会長

名誉会長 石光 輝男

株式の状況

- ①発行可能株式総数 22,400,000株
 ②発行済株式総数 8,000,000株
 ③株主数 5,570名
 ④大株主

株主名	持株数	持株比率
石光商事従業員持株会	364千株	4.7%
株式会社三井住友銀行	252	3.3
石光 輝男	238	3.1
駒澤 孝江	216	2.8
日米珈琲株式会社	204	2.6
株式会社トーホー	200	2.6
株式会社みなと銀行	194	2.5
丸紅株式会社	192	2.5
石光 輝信	179	2.3
石光 義幸	178	2.3

(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式数(291千株)を控除して算出しております。

株式分布状況

所有者別	株主数	所有株数
金融機関	8名 (0.14%)	876千株 (10.96%)
金融商品取引業者	13名 (0.23%)	196千株 (2.45%)
その他の法人	43名 (0.77%)	885千株 (11.07%)
外国法人等	2名 (0.04%)	28千株 (0.35%)
個人・その他	5,504名 (98.82%)	6,013千株 (75.17%)
合計	5,570名 (100.00%)	8,000千株 (100.00%)

グループ情報

石光商貿(上海)有限公司

中華人民共和国においてコーヒー生豆および食品の販売をしております。

THAI ISHIMITSU CO., LTD.

タイ王国においてコーヒーおよび食品の販売をしております。

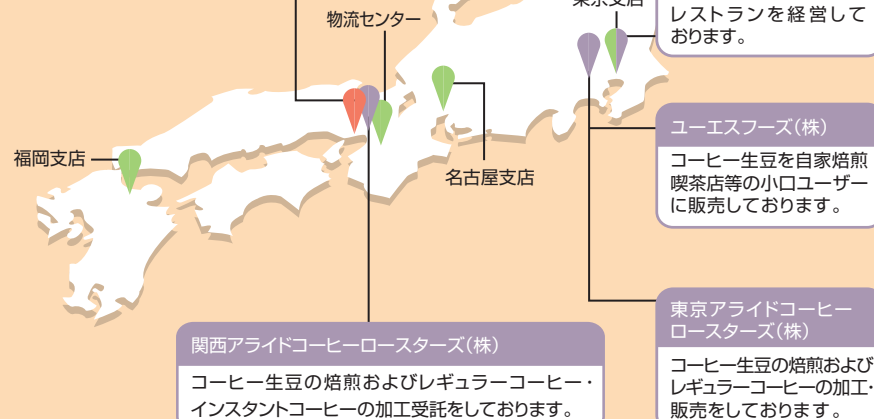
当 社

当社取扱主要品目を海外から輸入または国内で仕入れ、全国のコーヒー焙煎業者、業務用食品問屋、飲料メーカー、食品加工メーカー、量販店、外食チェーン等に販売しております。



本社

- 本社 神戸市灘区岩屋南町4-40
- 東京支店 東京都品川区南大井6-26-2
- 福岡支店 福岡市博多区博多駅南1-15-22
- 名古屋支店 名古屋市北区五反田町91
- 札幌支店 札幌市豊平区美園一条6-1-31
- 物流センター 大阪市西淀川区福町1-2-24



S.ISHIMITSU & CO.,LTD.

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日 (剰余金の配当をする場合)	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel.0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.ishimitsu.co.jp/japanese/koukoku.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インキを使用しております。